



1. 岡山県版レッドデータブック（抜粋）

マンサク科

マルバノキ（ベニマンサク）

Disanthus cercidifolius Maxim.

絶滅種	野生絶滅種	絶滅危惧種	危急種	準危急種	情報不足	希少種	留意種
-----	-------	-------	-----	------	------	-----	-----

環境庁：該当なし

生育情報：高さが2～3mに達する大形の落葉低木。落葉前の10～11月、紅葉しながら花が咲く。花は暗紅紫色で、葉腋から出るとごく短い枝先に2個が背中合わせにくっつく格好で咲く。花弁は5枚、線状披針形で先が細長くとがる。葉はハナズオウに似て円心形で全縁、5～7本の掌状脈があり、無毛で、先が短くとがり、3～6cmの葉柄があって互生。果実は翌年秋に黒褐色に熟れる。

分布状況：中部地方以西の本州と四国に分布しているが、中国地方では広島・岡山両県内のごく限られた土地にしか自生していない。県内の自生地は苫田郡内。

存続を脅かす要因：園芸採取（花材用採取）、森林伐採

特記事項：地元の人らが監視しているが、自生地が人家から離れていて、毎年のように盗伐・盗掘されている。

2. 指定理由

本種の現在確認されている県内の自生地は非常に局所的である。

過去においてしばしば盗掘が見られ、この地域の個体が失われれば県内の自生地における本種は絶滅する。

園芸採取（花材用採取）、森林伐採等の人為的な影響により、本種の存続が脅かされていることから、特に保護を図る必要がある。